

関屋記念

<最終見解>

本命はメイショウシンタケ。

母父はナスルーラ系でスプリント G1 実績があるアドマイヤコジーン。

前走は中京記念を 6 人気と上位評価されるも荒れた内枠を引いて凡走。

血統、前走戦歴も当レース傾向にほぼマッチする馬。

相手本線はディープ系の先行馬 8 ララクリスティーヌ、16 ラインバック。

小倉記念

<最終見解>

欧州指向の末脚が伸びる血統。
なかでもトニービンの血を持つ馬と相性良いレース。
格上挑戦馬の好走率が高く、期待値も高い。

本命はレヴェツツア。

父ドゥラメンテはトニービンの血を持つ馬。
また、ディープ産駒が特に強いレースで同じように走りやすい種牡馬。
ディープインパクト産駒が強かった大阪杯でも産駒は2年連続で馬券対象に。

当レースはディープ産駒も特に強いレース。
ドゥラメンテ産駒も同じように根幹距離 2000m の能力が特に優れた種牡馬。
格上挑戦も有利。

母はコンヴィクション 2。
今年のセレクトセール当歳で 5 億 2000 万円で落札された馬の弟。
個人的にもコンヴィクション 2 の繁殖能力は高く評価していますし、
去勢でコンヴィクションの特徴である柔らかさを引き出しているのも
いいでしょう。

相手本線は同じくドゥラメンテ産駒のゴールドエクリップス。